



吉美小だより

綾部市立吉美小学校
令和5年9月15日号

「人を大切にする」子ども・教職員のいる学校

<学校教育目標>

自立と貢献 ～夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 子どもの育成～

<教育スローガン>

「笑顔・元気・夢いっぱい そして 助け合い」

助け合い 笑顔きらめく 運動会



二学期がスタートして二週間が経過しました。この間、明後日に迫った「吉美地区市民大運動会」に向けて「助け合い 笑顔きらめく 運動会」をスローガンに、全体練習、色での活動、種目練習等に取り組んできました。9月に入っても猛暑が続いており、熱中症予防のため、屋外（運動場）での練習を中止する日もありましたが、明後日の運動会では、ここまで頑張ってきた137名の輝く姿を是非ご覧ください。その姿から、保護者の皆様、地域の皆様にとっても「笑顔きらめく」運動会になることを願っています。

運動会練習を見ながら、連日草引きをするのが日課になっています。これは、運動場で草引きをしている時の、私と低学年の子との会話です。子どもたちはそれぞれ思いの差はあるものの、自分の頑張りを見てほしい、認めてほしいという気持ちで練習に励んでいます。当日は、その頑張りを見ていただき、お家でも是非称えてあげてほしいと思います。

④「校長先生何しとるん？」⑤「草ひいとんや。」⑥「何で？」⑦「きれいな運動場の方が、みんな頑張ろうと思うやろ。だから草ひいとんや。」⑧「ふーん。」その後、運動会練習が終わり、再び私の前にこの子が現われ、草引きを始めました。そして最後は「私も運動場きれいにしよ。きれいな運動場で頑張るととこ見てもらお。」と締めくくりました。

草の「成長」に、人間の手が追いつかない現実がありますが、少しでも美しい運動場で実施できるようにしたいと思っています。

校長 塩尻 竹弘

子どもたちが自ら判断できる機会を 私たち大人は奪っていませんか？

成人は一日に、小さなことも含めておよそ35000回の判断をしていると言われています。小さな子どもでも一日に数千回の判断（決定）をしているらしいです。人は判断する時には考えます。「どうしようかな…」「どっちにしようかな…」「どうすれば上手いかなあ…」など、意識していなくても、考えて判断をしているのです。

思考力を伸ばすためには自分自身で考え、判断し、行動してみるという体験がとても大切だと言われています。でも、「どうしようか」と考えて判断しようとしている子どもに、つい「早く！」と言ったり、こちらがしてしまったりということがあります。これは家庭でも、学校でも言えることだと思います。効率を優先してまい、「待つ」ことができないということです。「待つ」ことの大切さは、分かっているにもかかわらずできないのが現実です。何もかも「待つ」ことは難しいと思います。何か事情（急ぎの事情）がある時はそのことを子どもに告げ、少し余裕がある時は、子どもたちの自らの判断、行動を辛抱して「待つ」ことをしたいものです。そのことが、思考力・判断力の獲得につながるはずです。



朝ごはんの効果

これまでから、「朝ごはん」の大切さについては、様々なところで伝えてきました。

こんな効果が…

- ① 脳や体のエネルギーの源になる。
・食べないと「動く」ためのエネルギーが不足します。
- ② 集中力がアップする。
・食べないと、脳のエネルギー源であるブドウ糖が不足し、イライラしたり集中力が続かなかったりします。

運動会で頑張るためには欠かせないものです。そして、朝ごはんを食べたかどうかで、学習への集中力にも差が出ます。余裕をもって食べるためにも「早起き」を勧めます。早起きのためには「早寝」が必要です。

だから、

早寝 早起き 朝ごはん！



是非 HP（ホームページ）をご覧ください

二学期から、もっと学校や子どもたちの様子を知らせていこうと、HPへのアップ回数（更新）を増やしています。是非ご覧ください。

